

第2回 江別市公園のあり方検討委員会

議事録

日時：令和8年（2026年）7月9日（木）14：00～16：30

場所：江別市 野幌公民館 2階研修室5号

■出席者

1. 委員（敬称略）

（学識経験者）	千里 政文	：	北翔大学
	我妻 尚広	：	元 酪農学園大学
（市民団体）	クック丈慈ジェームス	：	江別市スポーツ振興財団
	櫻澤 美穂	：	江別市PTA連合会
	瀬能 明日香	：	えべつ観光協会
	森谷 久美子	：	江別市女性団体協議会
（自治会）	砂川 英雄	：	江別市自治連絡協議会
（指定管理者）	秋元 寿也	：	江別環境整備事業協同組合
（市民公募委員）	蝦名 葉月		
	河原 明雄		

2. 事務局

江別市建設部	部長	惣万 祐仁
	次長	木谷 泰彦
	都市建設課 課長	上田 裕之
	都市建設課 公園整備計画担当参事	山崎 孝雄
	都市建設課公園係 係長	高橋 正志
	都市建設課公園係	枯木 翼
		庄子 郁乃

3. 傍聴者

2名

議論要旨

1. 開 会

- 定刻による開会宣言
- 傍聴者2名の入室許可

2. 議 事

【議事（１）第１回委員会の概要】

(事務局説明)

- 前回説明事項の概要。管理者としての公園の課題として、以下について説明した。
- ・公園の維持管理費を含めた事業費が10年で2倍になっている
 - ・約20年後に市の人口が10万人を下回る予想
 - ・地域ニーズに合わない施設や利用者ニーズの変化
 - ・公園距離の近さ
- など
- 委員から出た意見については以下のとおり
- ・小さい公園はまとめたほうが良いのでは、しかし簡単に統合は進まないのでは
 - ・法律上公園を無くすことができるのか
 - ・現状把握のためにアンケートをした方が良いのではないか
 - ・市内公園は正直利用していない
- など
- 検討にあたってまず公園の現状を把握する必要があると考えている
- 現状を把握したうえで、どうすれば多くの人に公園を利用してもらえるのか、公園を魅力ある施設にできるのかを、今後この委員会で検討したい

＜議事（１）に関する質疑・意見＞

なし

【議事（２）公園の適正な配置について】

(事務局説明)

- 適正な配置とは以下のような配置を指す
- ・地区公園を中心に、近隣公園、街区公園が等間隔に配置されている状況が適正な公園配置
 - ・街区公園 目 的：街区内に居住する者の利用に供する
標準距離：概ね半径 250mを標準とする
面 積：概ね 0.25ha (2,500 m²) を標準とする
 - ・近隣公園 目 的：近隣に居住する者の利用に供する
標準距離：概ね半径 500mを標準とする
面 積：概ね 2 ha (20,000 m²) を標準とする
 - ・地区公園 目 的：徒歩圏内に居住する者の利用に供する
標準距離：概ね半径 1 km を標準とする
面 積：概ね 4 ha (40,000 m²) を標準とする

- 標準的な配置よりも近い間隔で配置されている公園がある
- 同じような施設が配置されている公園は目的にあった公園にすることで、地域に合った公園にすることができないか
- 再編・集約検討の公園の洗い出し素案は以下のとおり
 - ・地域の核である、地区公園、近隣公園は対象外
 - ・幹線道路に囲まれている範囲の中で1つしかない公園は対象外
 - ・自治会内の範囲の中で1つしかない公園は対象外
 - ・自治会内に2つ以上公園がある場合においても、幹線道路を渡らなければ行けない公園は対象外
 - ・適正な配置と考えられる公園は対象外
 - ・残ったものを検討対象公園とする

<議事（２）に関する質疑・意見>

なし

【議題（３）現地視察】

（事務局説明）

○実際に現地で視察をしていただく。時間の都合上、公園同士の距離が近く、なおかつ狭小である以下の４公園を対象とする。

視察１ さなえ公園

1982年（昭和57年）44年経過 面積 204 m²

視察２ ききょう公園

2001年（平成13年）25年経過 面積 949 m²

視察３ さくらんぼ公園

1982年（昭和57年）44年経過 面積 237 m²

視察４ ぽっぽ公園

2001年（平成13年）25年経過 面積 241 m²

視察５ 四季のみち（春）

緑道 1992年（平成4年）34年経過 面積 35,102 m²

<議事（３）に関する質疑・意見>

○公園の印象について

（森谷委員）

- ・印象に残ったのは「ききょう公園」。外灯も確認できず、防犯面でも怖い
- ・「さなえ公園」や「ぽっぽ公園」のような砂場の管理はどうしているのか

（櫻澤委員）

- ・気になったのは「ぽっぽ公園」。周辺の造成に併せて作られており、小さい子どもを対象とした公園内容であるにも関わらず、現在は使われていないように感じた

(砂川委員)

- ・「さなえ公園」や「ききょう公園」は自宅から近いエリアにあるものの、こんな近距離にあるとは知らなかった
- ・「さくらんぼ公園」の雑草がひどい。他の公園はわりと短く刈ってあるのに、ここだけ野放しなのはなぜか

▷ **(秋元委員)**

- ・指定管理者として回答させていただく。今回視察した公園のうち、「さくらんぼ公園」は他の公園と違う工区であり、入っている業者が異なる。3週間おきに草刈りには入っており、たまたまタイミングが異なった。「さくらんぼ公園」にも近々に草刈りが入る。

▷ **(事務局回答)**

- ・今季もすでに2回草刈りに入っている公園である。

(瀬能委員)

- ・帰り道に通ったタコ公園（野幌町若草公園の愛称）はたくさんの子供たちが遊んでいるのが確認できた

○公園のあり方について

(クック委員)

- ・現地や資料を確認し、規模の小さい公園が多く、設置遊具なども似たような公園が歩いて数分もしない距離にあることを実感した。公園周辺の人には良いとは思いますが、そこまで必要性があるのか、今一度検討しても良いと感じた
- ・すべての公園を綺麗に修繕できるのが理想だが、予算等の問題もある。公園を減らす替わりではないが、その分近くの公園を少しでもよくなるように少しずつ進められると良い

(櫻澤委員)

- ・雑草のひどい公園もあった。管理ができていない公園は、「あっても使わない」ことが多いと思う。綺麗にする公園を残し、廃止かどうかはわからないが、そういったことも考えて良いのではないか

(河原委員)

- ・全体的に小さい街区公園は、遊んでいる子どもが皆無であれば（廃止も）頷けるかなと思う
- ・未就学児の親であるが、遊具を使わずとも、子どもが歩いたり走ったり、お散歩がてら外出する場所として、存在していること自体に一定のメリットはあると思うので、一概に（小さな街区公園が）全くいらないということではないと感じる
- ・すべてを一概に整理するというのは現実的ではないと感じる。近隣の年齢層や家族構成等に照らし合わせ、何らかの優先順位をつけるのであれば、周辺が新興住宅街でないところは淘汰され、別のことを考えなくてはいけないと感じる。古い公園の隣には住みたくない

(蝦名委員)

- ・公園を見て、公園同士の距離が近く、どちらの公園にも徒歩で行ける範囲だと感じた。また、遊具も似ており、このような場合はどちらかの公園で良いと思う。さらに、周辺にもう1公園あるのだとすれば、そのうちどれか1公園で良いと感じる
- ・または、大きい子用の公園、小さい子用の公園という形で用途分けをしても良いと感じる

(砂川委員)

- ・近い距離にある公園を見て、本当にその場所にあるのが良いのか、必要なかという観点で考えてみる必要があると感じた
- ・今日見たような規模の公園（狭小公園）は市内にどれくらいあるのか

▷ (事務局回答)

- ・狭小公園と呼ばれる面積 500 m²未満の公園は市内に 29 箇所ある
- ・また、街区公園の標準的なサイズである、0.25ha に満たない 1,000 m²未満の公園は狭小公園を含め 78 箇所ほど存在している

(瀬能委員)

- ・視察した公園の一部は昭和後半に宅地造成により作られたと聞いた。その年数は、今小さい子どもを育てる親達よりも上の世代となる。近隣住民の生活スタイルに合わせて、（公園）数の調整はあっても良いのではないか
- ・また、公園敷地を駐車場にするなど、別の利活用もできるのではないかと感じた
- ・（再編にあたっては）正直、小学校や学童、保育園などの施設との距離感を見ながら、小さい街区公園については数を減らしていくのもひとつ（の手）なのかなと感じた

(我妻副委員長)

- ・視察によって、その当時の都合で、距離的にかなり近づいた公園があると実感した
- ・今後の委員会では、大きさの基準や、密度、など再編対象のイメージを検討する必要がある
- ・統合するのはやむを得ないというのが、全体意見だと思うが、再編の基準を考えていかなければならない
- ・基準を考える際は、子どもたちの（公園）利用率などを調査してもらう必要があるのではないかな
- ・公園を管理するお金も非常に大変で、公園数を減らすことで、より（予算を）魅力的な公園のために使えるのではないかと感じた

(千里委員長)

- ・視察してみて、かなり近くに公園があり、市で計画的に作ったというよりも、造成時に作らなくてはいけなから作った、というような印象を受けた
- ・小さな公園でも草刈りなどはしっかりされているが、遊具などの整備は追いついていない
- ・街にゴミが落ちていると周辺でゴミが増える、場合によっては治安が悪化することがある。日常管理がされていても、手すりが故障している、公園に黄色いテープが張られている、「さくらんぼ公園」にいたっては、JR との境にあるフェンスに穴が空いている。小さい公園にはそういう危険が存在している
- ・「ききょう公園」は近くに沢がある、各公園は照明が少ない、照明がないと治安悪化につながるのではないかな。市では優先順位を考え、大きな公園からまず修繕していると思うが、小さい公園は数十年後回しになっているように感じた
- ・厳しい言い方になるが、危険な所が放置されていることは問題であると思う。本来市役所も修繕したいが、財政や優先順位の関係で着手できないというのが現状だと想像する。しかし、修繕をしなければ利用できない公園のままである。直せる状況にしていかなければならない
- ・公園を無くすことは消極的なことではなく、発展的に統合することで、使いやすくし、まとめ

ていくことが重要ではないか

- ・治安も含めて考えると、検討しなくてはいけないことが想像以上にあると感じた

(蝦名委員)

- ・対象公園の選定基準を考えるにあたり、様々な意見が出たが、密度を一番考慮すべきでないかを感じる。周辺に公園がない地域もあるだろうし、どんなに小さくてもそういった地域では公園をなくさずに残してほしい

(我妻副委員長)

- ・密度と大きさ、そして利用率を合わせて考えるべきでないか。小さい公園であっても、利用率の高い公園は残さなくてはいけないし、そういったことを併せて基準を設ける提案ができればよい
- ・また、個々の公園の話まではせず、あくまで基準を考え、それをもとに後に事務局が検討できるよう提案することが必要ではないか

(瀬能委員)

- ・そもそも利用率はどのように計測するのか

▷ **(事務局回答)**

- ・現在市にそういったデータは存在していない
- ・現在想定される1案として、日中の決まった時間で公園の来訪者が何人いたか計測してもらう方法を想定している
- ・また、他市町村ではビッグデータを使う方法もあると聞く。いずれの方法も予算が必要である

(櫻澤委員)

- ・小学校などに協力してもらうのはどうか。児童生徒にアンケートを渡し、その公園を利用したことがあるかを聞く

(千里委員長)

- ・保育園などの協力も想定できるかもしれない。よく活用する公園などを園の先生に問う形も考えられる

▷ **(事務局回答)**

- ・様々な手法を検討する

(蝦名委員)

- ・利用率も大切だと思うが、今利用している子どもたちも10数年後には使わなくなるのではないか。10数年後には、別のエリアに新しい子どもたちが住んでいて、利用される公園や人気は変動していくように思う
- ・公園は30年や40年に1度しか改修できない施設だと思う。人よりも公園のほうが同じ場所に長く残ることになる。今の人気や利用率だけを見て判断すると、将来的に困るのではないか

(千里委員長)

- ・世代交代が起こって、高齢者中心の地区に子育て世代が入ってくることは想定される
- ・我々が次の世代に江別市を渡して行くときに、こういった課題をきちんとしなくてはいけない

【議題（４）市民アンケートについて】

（事務局説明）

○前回委員会でご提案いただいた、市民ニーズを調査するためのアンケートを以下のとおり行いたい

・内容

- １：回答者属性 居住地区や年代、世帯構成など
- ２：近くの公園、市内公園、市外公園の利用状況やその理由など
- ３：これからの江別市の公園に求めることなど

・方法

市内に居住する 18 歳以上の男女から無作為に 1,500 名を抽出しアンケート送付

回答は QR コードの読み込みによる回答フォームからの回答ないし、回答用紙に記入

・時期

今月中に発送を目指したい

＜議事（４）に関する質疑・意見＞

（我妻副委員長）

- ・回答者の母数を増やしてはどうか。広報やホームページに掲載したり、小中学校にポスターを掲示するなどして広く意見を求めているかどうか
- ・ホームページなどであれば、電子的な集計ができ、手間も少ないのではないかと

（瀬能委員）

- ・市の公式 LINE など登録者が多いので、周知には良いのではないかと

▷（事務局回答）

- ・対象者の範囲について検討する。

（河原委員）

- ・回答者属性のうち、世帯構成について「親と子」とあるが、子の年代について聞いてはどうか。公園は全世代に使ってほしいが、やはり利用のメインは子どもであると思う。未就学児なのか、小学生なのか、大きい子どもなのかなど聞いてはどうか

▷（事務局回答）

- ・参考にし、検討したい。今日の意見をもとに、再度委員長、副委員長に内容の確認を行った後、アンケートを実施する

3. その他

○次回委員会は 9 月中旬から 10 月上旬を予定

○秋元委員より、9 月 5 日に湯川公園にて開催される、公園フェスについて宣伝

4. 閉 会

— 以 上 —